

Teshio Sports Spots

北海道天塩高校6班
北海道天塩高校
田中健悟 齊藤建 中野維敏 長山海音

目次

- ・ 目的と課題
- ・ 遊び場を作るにあたっての課題
- ・ RESASによる人口分布の調査
- ・ アンケート調査
- ・ アイデア①
- ・ アイデア①の未来像
- ・ アイデア②
- ・ アイデア②の未来像
- ・ アイデア③
- ・ アイデア③の未来像
- ・ アイデア3つのつながり
- ・ 現在の進捗状況
- ・ 中間発表でのQ & A
- ・ まとめ

目的と課題

学生の**未来の生活**
を豊かにするため

天塩町の**活性化**のため

現状は...

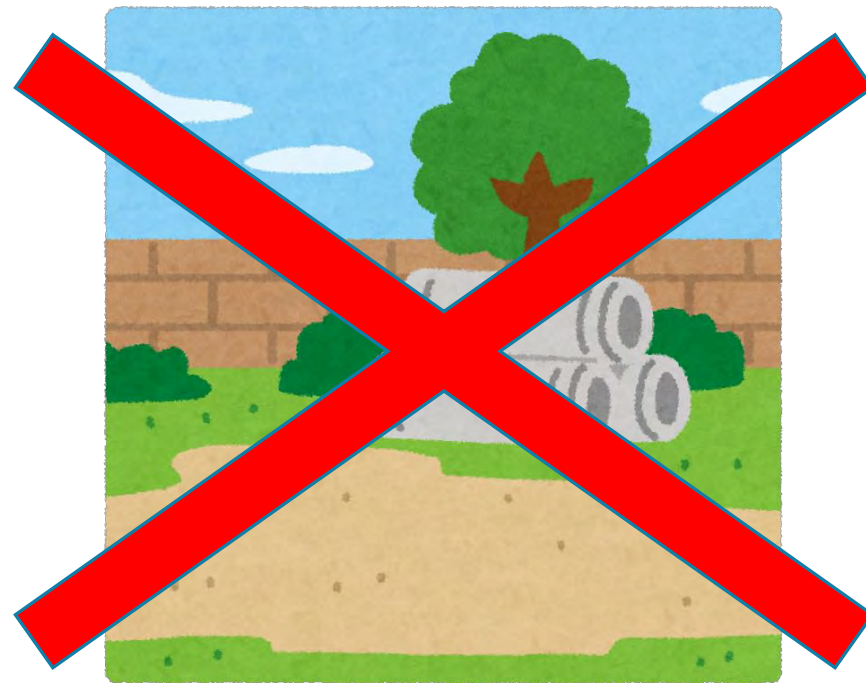
- ・遊び場が少ないという現状から若い人が交流できない
- ・空き地を利用できていない

**天塩町に
活力がない**

遊び場を作るにあたっての課題



費用がかかる

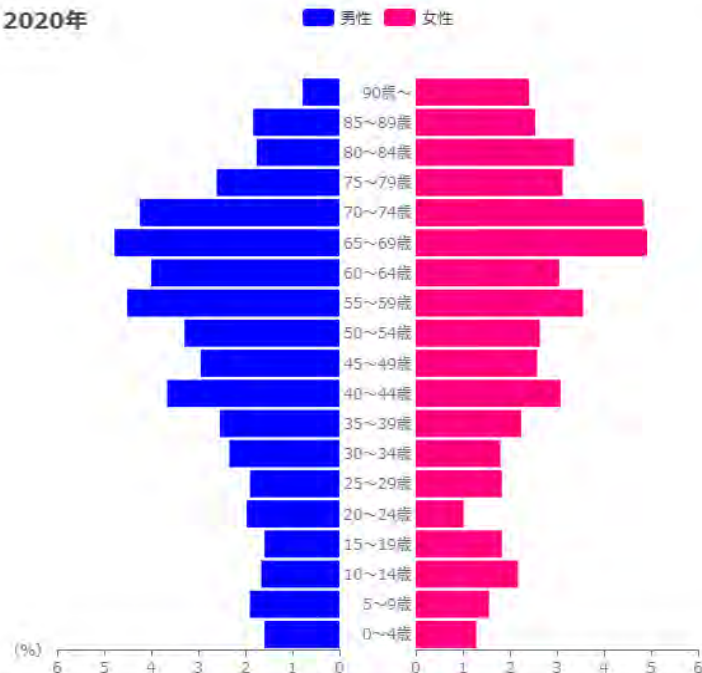


土地が限られている

RESASによる人口分布の調査

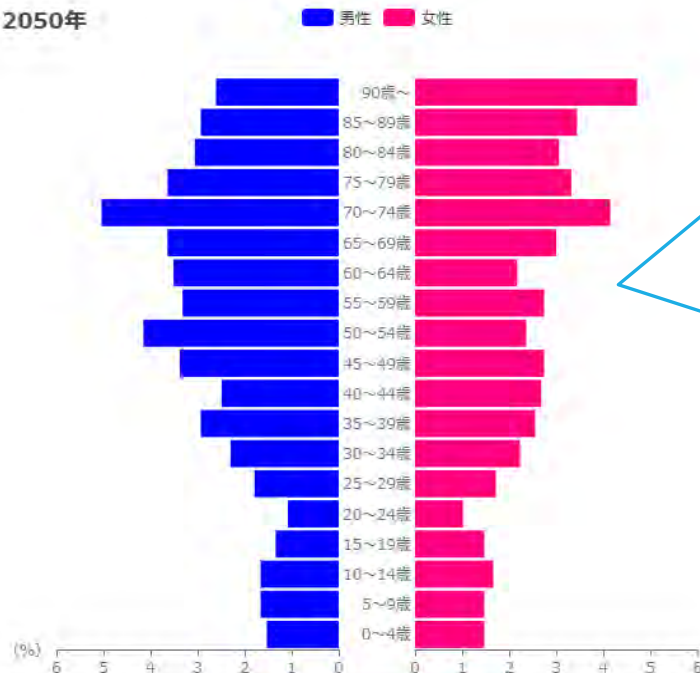
人口ピラミッド
北海道天塩町

2020年



老年人口（65歳以上）：1,097人（37.19%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：1,545人（52.37%）
年少人口（0歳～14歳）：300人（10.17%）

2050年



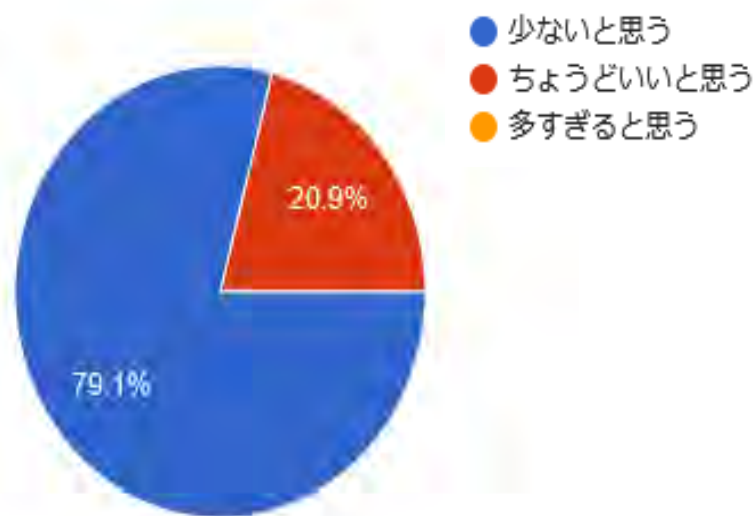
老年人口（65歳以上）：668人（42.6%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：752人（47.96%）
年少人口（0歳～14歳）：148人（9.44%）

少子化を抑えるためには、子育てをしやすい環境を作り、親の負担を減らす必要がある。

アンケート調査

6.天塩町には、学生の遊び場が少ないと思いますか？

43 件の回答



学生の遊び場が少ないと思う人が
約八割ほどいる

10～30代の方は運動をしているが、
40～50代の方は運動をしていない

その結果...

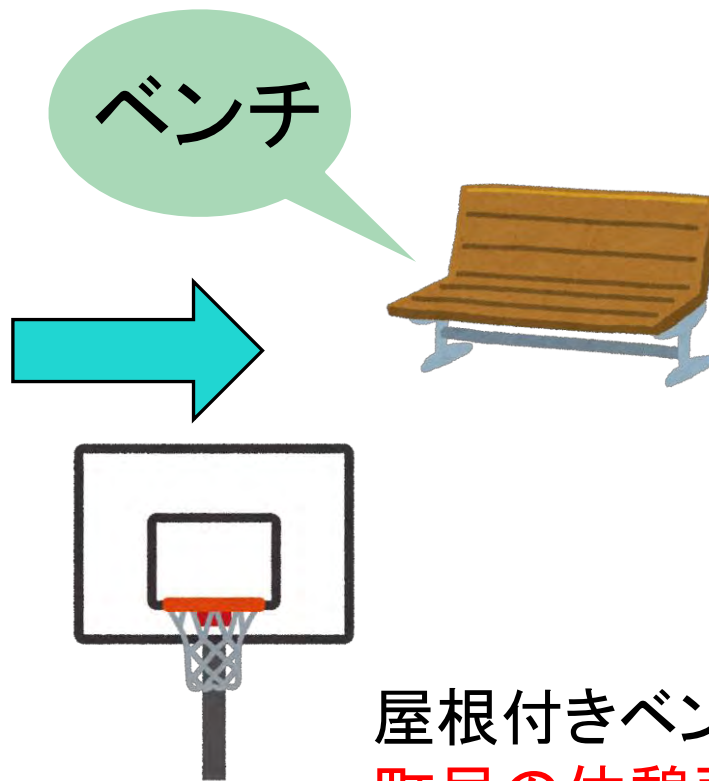
**少子高齢化がより進み、天塩町に
活力がなくなっていくと考えられる。**

アイデア①(いつくしま公園)

ストリートバスケットコート設立！



何もない...



屋根付きベンチを置くことで
町民の休憩所ができる。

アイデア①の未来像

メリット

- ・運動不足を解消できる
- ・バスケットを通じての交流

- ・高校生は通いやすく、遊び場が増え、町で遊ぶ学生が増えるため
- ・天塩町に活力が湧く。

また、天塩周辺ではストリートバスケットコートが少ない。

デメリット

- ・管理する必要がある
- ・遊び場を巡ってトラブルが起きる可能性がある



参考: google map

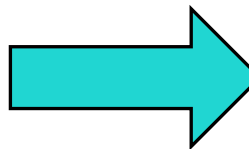
アイデア②(旧農業開発官舎前)

空き地を利用して最近話題の
スケートパークを作る！

※提案のみなので、役場と
の連携はまだしていません。



旧農業開発官舎前



アイデア②の未来像

2024パリオリンピックスケートボードの影響で**スケボー人口**が増えている。

利用者からの要望

1. 初心者が利用しやすいスケートパークを作ってほしい。
2. 複雑なセクションの無い無料の**小さなパークをもっと沢山**つくってほしい。

スケボーが**人気**なことが分かる。
→しかし、天塩周辺は1か所もない。そこで天塩に**スケートパークを造ることで天塩に来る人が増える**のではないかな。

施設数	2017年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国	100	243	340	434	475
北海道・東北地方	10	26	50	61	70



画像引用: google map



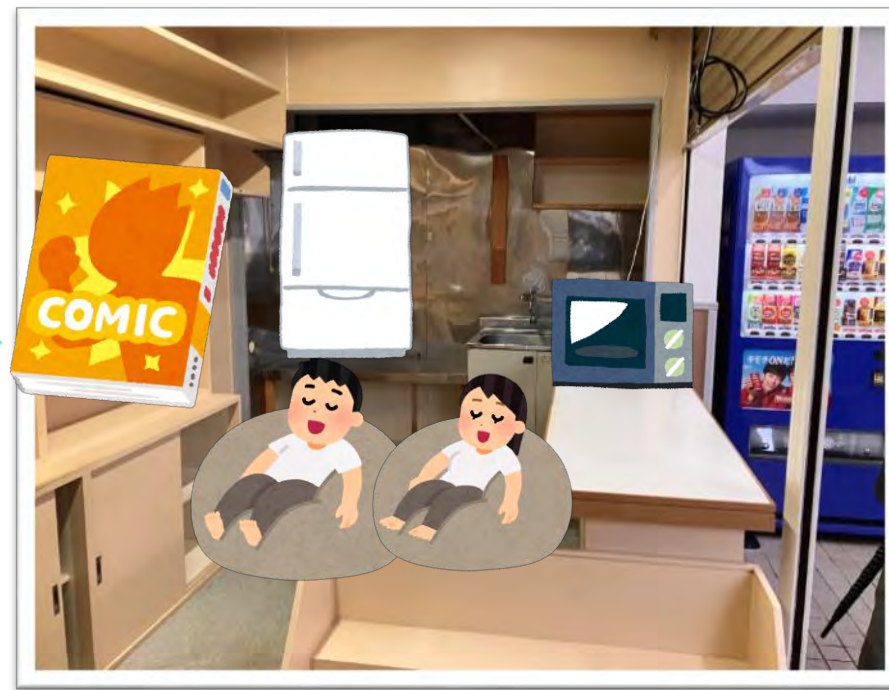
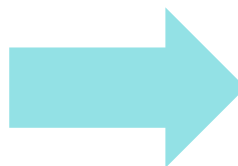
引用元: NPO法人日本スケートパーク協会

アイデア③(6丁目バスターミナル)

バス停の改造



before

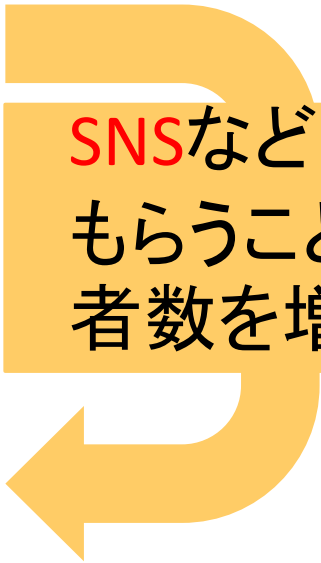


after

アイデア③の未来像

1. 現在使われていないバス停の一部分を利用する
2. 様々な種類の物を置く

1. リラックスできる空間ができることによってバス停に来てくれる人が増える



SNSなどで知ってもらうことで利用者数を増やす。

アイデア3つのつながり

1. 天塩町に遊び場が増え、**距離が短くなった**
2. バス停に**ポスターを貼る**ことで、町外から来た人がストリートバスケットやスケートパークに来る人が増え、**バス停にも人が増える。**



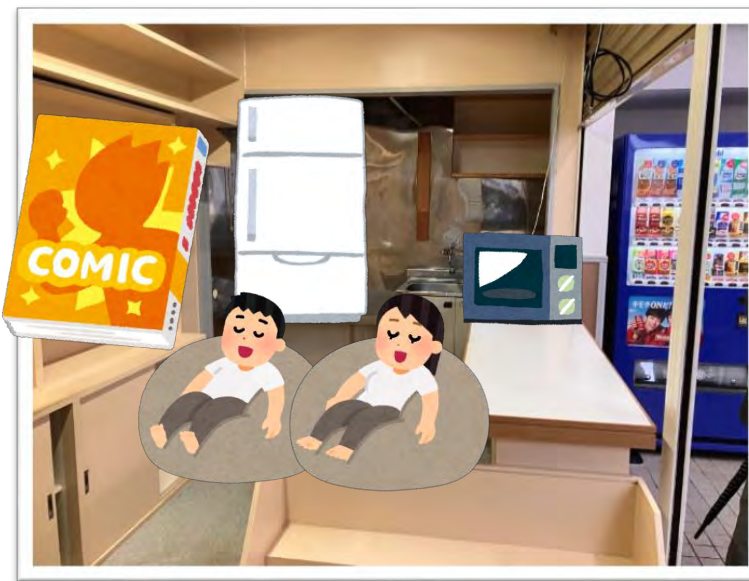
現在の進捗状況

ストリートバスケットの設立



高校から近くすることで、通いやすくすることができる。

バス停の改造



学生のニーズに合わせた製品を導入する。

スケートパーク



利用者の希望に合わせた小さめのスケートパーク

中間発表でのQ&A

Q.バスケットをもっと町の中心に遊び場を作るべきでは？

A. 高校生が平日などでも**アクセスしやすい場所**に作らなければいけないので、今考えている場所が最適だと考えた。

Q.普段待っているときと改造をした後の違いはなんですか？

A.より快適に過ごすことができ、会話のレパートリーが増える。
また、**学年の垣根を越えて交流すること**ができると考えた。

まとめ

・遊び場が少なく、地域が活性化していない現状を脱するためには、遊び場を設立するにあたり、資金的な問題があるため、役場または大人の協力が必要不可欠である。

・学生の未来を豊かにするためには、天塩町をより発展させる必要があり、そのためには子育てをしやすい環境、若者にやさしい環境を作ることが大切である。

